

# 1864 in the wild



## 知ろう 守ろう ジャイアントパンダ

1864。この数がなにか、知っていますか。

これは、中国にくらす野生のジャイアントパンダの数です。

シャンシャンの仲間たちは、さまざまな課題に直面し、絶滅の危機に瀕しています。

私たちに何ができるのでしょうか？



恩賜上野動物園

# 詳しく知ろう！パンダのこと

## 大きな頭

かたいタケを噛みつぶすための筋肉が、あごから頭にかけて分厚くついています。そのため大きな丸顔に見えます。

## 鋭い牙と大きな奥歯

上下に2本ずつ生えた牙は、肉食動物の仲間の証し。奥歯は幅広で大きく、この歯でタケを噛みつぶします。



## 白黒もよう

①森の雪景色に溶け込んで敵から身を守る、②広い森の中で仲間を見つけやすい、③黒は熱を吸収するので手足や耳が冷えにくい、などいろいろな説があります。

## 子どもの成長

子どもはわずか100~150g（母親の1/1000）で生まれます。白黒のもようは生後1週間くらいから現れます。6ヶ月頃から、安全な木の上に登って休むようになります。1年で約30kgに、3歳頃におとなと同じ大きさになります。

ジャイアントパンダは不思議がいっぱいの動物です。たとえば白黒のもよう、すんでいる場所、繁殖のしかた。そして何より、肉食動物の仲間なのにタケを食べていること！

## 器用な前足

前足にはこぶのようなでっぱりがあり、5本の指と向き合って、タケをしっかりとつかむことができます。大量のタケを効率よく食べる秘訣です。



## 単独でくらす

野生では、オスもメスもそれぞれ単独でくらします。そのため子育ては母親だけで行います。子どもは生後1年半~2年で母親から離れ、ひとりぐらしを始めます。

## 生息地

中国の四川省・甘粛省・陝西省の高山帯、標高1300~3500mのタケが多く生えた森で生活しています。生息地の総面積は、九州の半分ほどしかありません。



## 短い腸

植物の繊維は消化が難しいため、ふつう草食動物の腸はとても長いのですが（体長の7~20倍）、ジャイアントパンダの腸は他の肉食動物と同じく短いままで（体長の4~6倍）。

## タケ色の糞

胃腸が短いので、食べたタケは2~3割ほどしか消化できず、色や形が残ったままで排泄されます。消化率が低い分、大量に食べる必要があるのです。



## 繁殖

メスがオスの接近を許すのは、1年でたったの2~3日のみ。また受精卵がすぐに着床しないため、妊娠期間には80~200日と大きく幅があり、出産日を予測することはできません。

## ジャイアントパンダ

Giant panda  
*Ailuropoda melanoleuca*

食肉目 クマ科

国際自然保護連合  
IUCNのレッドリスト

VU  
絶滅危惧Ⅱ類

## なぜ数が少ないので？

野生には1864頭しかいないジャイアントパンダ。その主な原因是、昔は白黒の毛皮を狙った乱獲、現在は生息地の開発です。そしてパンダの生態そのものにも、数が増えにくい要因があります。



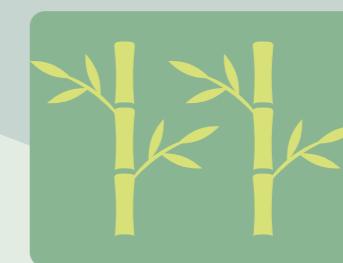
## 低い生息密度

パンダが生きるために必要な森が広いです。そのため生息地での密度は15km<sup>2</sup>あたりに1頭、これは東京の山手線内に4頭しかいない状態です。



## 生息地の問題

もともと狭い生息地が、森林の伐採や開発により減少しています。また細かく分断されてしまっているため、繁殖の相手を探すのが難しいのです。



## えさの問題

数十年に一度、タケに花が咲き一斉に枯れてしまうと食糧難になります。開発や温暖化の影響で、生息域からタケがなくなることも懸念されています。



## 繁殖率の低さ

通常、とても未熟な子を1~2頭産みますが、野生では1頭しか育ちません。メスが生涯に育てる子どもは3頭ほどので、いったん生息数が減るとなかなか回復できません。



絶滅が危惧される現状を改善するために、世界中の動物園や研究機関が協力して、パンダを守る取り組みを続けています。

## 世界中で進む繁殖の取り組み



上野動物園で生まれたシャンシャン(左)



中国パンダ保護研究センターのパンダ

### 世界での飼育頭数

2018年6月現在

#### そのほかの国と地域



日本



中国



約  
450



## 野生のパンダを守る取り組み

野生のパンダは、20に分断された小さな生息地にくらしています。その数は1864頭\*。ジャイアントパンダは絶滅の可能性が高い、非常に危険な状況に置かれています。それぞれの生息地を広げ、つなげるために、中国政府はタケ林の回廊作りに乗り出しました。さらにパンダの生息地を自然保護区として、多様な野生動物を保護し、生態系を維持する取り組みや、2003年からは飼育下で繁殖したパンダを野生復帰させる取り組みも始まっています。それらの結果、野生のパンダはこの10年で250頭以上増えました。

野生のパンダを絶滅の脅威から守り、次の世代に残していくことが、私たちの取り組みの大きなゴールなのです。

\*2015年中国国家林業局発表



パンダが生息する中国四川省の山



## ジャイアントパンダ保護サポート基金

みなさまからの支援金を、上野動物園でのジャイアントパンダの生活環境の改善や繁殖研究、中国の野生個体を守る保護活動の資金として活用しています。募金や振込みによるご支援のほか、ロゴがついた商品の購入によってもご協力いただけます。